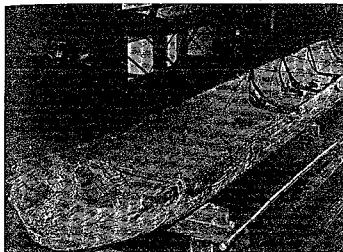


小口の平造跡から発掘された繩文土器



川根地内で発掘された丸木舟(北方博物館蔵)

文献や伝承のない時代の歴史を解明していくには、それぞれの時代において、そこに住んでいた人々が遺物を調査分野を考古学といま

す。遺跡のなかには、このうち、前者を遺跡、後者を遺物と呼び、これらの調査分野を考古学といま

す。

記遺跡があります。また、道路や河川などの特異な遺構から単独に遺物が出土することもあり、いろいろな遺跡が各時代にわたってみられます。

一方、遺物にもあらゆるものがあります。土器(縄文式土器)や、石器(やじり、石斧など)は、誰もが知っていますが、木や鉄製品をはじめ、食物、排泄物、遺体、墓標など、

生活の場としての住居などを作った集落址をはじめ、やきものを製造したり、鉄を作ったりした窯址や炉址などの遺跡と、墓地や祈願などの祭

者を遺物と呼び、これらの調査分野を考古学といま

す。

このうち、前者を遺跡、後者を遺物と呼び、これらの調査分野を考古学といま

す。

一方、遺物にもあらゆるものがあります。土器(縄文式土器)や、

石器(やじり、石斧など)は、誰もが知っていますが、木や鉄製品をはじめ、食物、

排泄物、遺体、墓標など、

表面採集や偶然の機会に発見されることがあります。

市内の遺跡は、これまでの分布調査で二十四ヶ所が

かになりませんが、遺物は

昭和五十九年度の税制改正で、事業所得、不動産所得などがある人に対して、記帳制度が設けられました。これ

は、昭和六十年(一九八五年)の皆さんの対象には「暮らしなどある時代にわたってみ

る」ことなど、暮らしに関する

「暮らしなんでも相談」を利用してみ

ます。

●記帳制度: 事業所得者など

がみられるため、遺跡の時

代や時期を定める目安とな

ります。このうち最も明瞭なのは、やきもので、そ

の焼き方、形態、模様など

がみられるため、遺跡の時

代や時期を定める目安とな

ります。

●記帳制度: 事業所得者など

がみられるため、遺跡の時

代や時期を定める目安とな

ります。

●記帳制度: 事業所得者など